



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5952 URL <http://www.amatei.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 亮
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 川上 剛司 (TEL) 06-6411-1236
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,379	8.2	55	275.6	53	309.0	42	501.3
2023年3月期第1四半期	1,274	4.3	14	—	13	—	7	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 42百万円(501.3%) 2023年3月期第1四半期 7百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	3.57	—
2023年3月期第1四半期	0.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,627	1,281	22.8
2023年3月期	5,595	1,257	22.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 1,281百万円 2023年3月期 1,257百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,736	3.9	78	79.3	76	92.1	52	104.0	4.39
通期	5,641	2.8	140	△13.2	130	△13.8	80	0.6	6.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	12,317,000株	2023年3月期	12,317,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	461,004株	2023年3月期	461,004株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	11,855,996株	2023年3月期1Q	11,856,996株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和される中、経済活動の正常化が進みました。個人消費の持ち直しやインバウンド需要の回復を受けて多くの分野で企業業績も上向き、日経平均株価も好調に推移し始めました。

一方、米中間による経済安全保障問題や台湾情勢の緊迫化、米国の金融機関破綻に端を発する金融システム不安も依然燻っている中、ロシアによるウクライナ侵攻も長期化しており、海外情勢は未だ混沌とした状況にあります。更なる物価高騰や為替変動など、これらの海外情勢がわが国経済へ与える影響には今後も留意が必要であります。

国内建設市場では、住宅需要が低減する傾向にあり、第1四半期における新設住宅着工戸数は20.7万戸と、前年同期間と対比して4.7%減少しております。一方、国内自動車生産は、半導体不足も解消してきている中、中部圏を中心に堅調な回復が見られ、本年4～5月の国内自動車生産台数(確報値)は前年同期間と比べ32.8%増となりました。

こういった環境下、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,379百万円(前年同四半期1,274百万円、8.2%増)となり、その内訳は建設・梱包向が1,004百万円(前年同四半期3.0%増)、電気・輸送機器向は374百万円(前年同四半期25.1%増)であります。売上総利益は、242百万円と前年同四半期に比べ27百万円(12.9%増)の増益となり、これは、建設・梱包向及び電気・輸送機器向で販売価格の改定が進んだこと、生産性向上等により製造コストの削減が更に進んだことが主要因であります。営業利益は、55百万円(前年同四半期14百万円)と増益となりました。賃上げや諸経費上昇の影響がありましたが、運賃コスト抑制や固定費削減効果により、販売費及び一般管理費が前年同四半期に比べ13百万円減少したことにより、経常利益につきましても、53百万円(前年同四半期13百万円)と増益となりました。最終的な親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等11百万円を差し引き42百万円(前年同四半期7百万円)と大きく改善いたしました。

(建設・梱包向)

当社グループの主たる事業である建設・梱包向のうち建設向は、資材価格高騰に起因する住宅価格上昇の影響で2×4等の木造住宅着工戸数が減少傾向にある中、当社の販売数量も前年同四半期対比で減少となりました。収益面では、販売価格の改定が浸透し、当セグメントの売上高は1,004百万円と前年同四半期に比べ29百万円増(3.0%増)となり、販売価格上昇が数量減を補完した形となっております。国内生産の固定費低減、海外OEM品と国内生産品の販売比率調整等の結果、セグメント利益は前年同四半期に比べ13百万円増の73百万円となりました。

(電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向セグメントは、連結子会社である株式会社ナテックの当第1四半期(1～3月)において、メインユーザー層である自動車業界の生産回復を受けて同社の生産も高い水準で推移しました。特に、電気自動車・ハイブリッド車関連のバッテリー・モーター及び自動化関連に使用されるライセンス品やボルト・特殊締結品の需要回復が顕著であります。また家電や遊戯関係向けの需要も堅調に推移しました。この結果、当セグメントの売上高は、374百万円と前年同四半期に比べ75百万円増(25.1%増)となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ23百万円増の30百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

・資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、5,627百万円(前連結会計年度末[以下「前年度末」という]比32百万円増)となりました。流動資産は、前年度末に比べ55百万円増加し、3,652百万円となりました。これは、現金及び預金が166百万円増加、商品及び製品が20百万円減少、仕掛品が16百万円減少、原材料及び貯蔵品が54百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、前年度末に比べ23百万円減少し、1,975百万円となりました。これは主に、有形・無形固定資産の設備投資14百万円に対して減価償却費37百万円等によるものであります。

(負債)

負債合計は、前年度末に比べ7百万円増加し、4,346百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ27百万円減少し、3,096百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が前年度末に比べ81百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は、前年度末に比べ35百万円増加し、1,249百万円となりました。これは、主に長期借入金が前年度末に比べ27百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前年度末に比べ24百万円増加し、1,281百万円となりました。これは、当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が42百万円、剰余金配当が17百万円あったことによるものであります。この結果、自己資本比率は、前年度末の22.5%から22.8%となり、1株当たり純資産は106.05円から108.12円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降の業績に関して、建設・梱包向は、秋口にかけて本格的な需要期に入ることから、戸建て分譲・貸家を中心に新設住宅着工戸数の回復が見られるものと見通しています。また、カーボンニュートラルへの社会的な取組として、中層マンションや非住宅中高層建築物への木材活用が促進されていく中で、釘を中心とした当社製品の需要、特に高機能が求められる特殊釘の需要は着実に増えていくことが期待されます。

収益面では、国内製品の製造コスト及び輸入商品の仕入価格が高止まっていることを踏まえて、適正な販売価格での販売を継続していく一方、引続き生産性向上やコスト削減に取り組んでまいります。

一方、電気・輸送機器向は、半導体・部品不足がほぼ解消され、中部圏以外の自動車メーカーにおいても生産が正常化していくことが見込まれています。電気自動車など環境対策車への需要は益々増加してくるものと見られており、自動車メーカーの生産回復に伴い当社子会社製品の出荷量も順次拡大していくものと考えられます。

収益面では、高付加価値のライセンス製品やオリジナル加工品であるパーツフォーマー製品等の主力製品の出荷が促進され、収益に貢献していくことが想定されます。

上記の状況を勘案し、直近の事業環境も踏まえた上で、今後の業績見直しを見直した結果、2023年5月10日に発表いたしました2024年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を、2023年8月10日『業績予想の修正に関するお知らせ』の通り、修正致しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	422,490	589,045
受取手形	314,910	320,997
売掛金	894,438	889,450
電子記録債権	264,898	253,986
商品及び製品	1,005,541	985,256
仕掛品	331,329	315,203
原材料及び貯蔵品	339,023	284,782
前払費用	14,636	16,075
その他	14,553	1,160
貸倒引当金	△4,596	△3,463
流動資産合計	3,597,224	3,652,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	637,666	625,960
機械装置及び運搬具（純額）	424,581	406,202
土地	732,441	732,441
その他（純額）	42,177	42,541
有形固定資産合計	1,836,867	1,807,145
無形固定資産		
ソフトウェア	17,241	15,783
その他	19,248	26,398
無形固定資産合計	36,490	42,181
投資その他の資産		
投資有価証券	226	226
長期前払費用	12,489	10,533
繰延税金資産	9,638	10,495
その他	114,739	116,697
貸倒引当金	△11,831	△11,816
投資その他の資産合計	125,262	126,136
固定資産合計	1,998,621	1,975,464
資産合計	5,595,845	5,627,959

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	715,356	633,941
電子記録債務	311,421	315,202
短期借入金	1,804,084	1,841,305
未払法人税等	44,499	15,177
未払消費税等	4,939	42,045
未払費用	70,546	72,111
賞与引当金	72,064	44,307
役員賞与引当金	6,910	1,561
その他	94,364	131,040
流動負債合計	3,124,185	3,096,692
固定負債		
長期借入金	999,316	1,027,143
繰延税金負債	4,266	3,109
役員退職慰労引当金	29,147	31,447
退職給付に係る負債	181,399	184,594
資産除去債務	249	249
その他	—	2,867
固定負債合計	1,214,378	1,249,410
負債合計	4,338,564	4,346,102
純資産の部		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	76,094	76,094
利益剰余金	607,174	631,749
自己株式	△41,203	△41,203
株主資本合計	1,257,281	1,281,856
純資産合計	1,257,281	1,281,856
負債純資産合計	5,595,845	5,627,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,274,589	1,379,046
売上原価	1,059,806	1,136,475
売上総利益	214,782	242,570
販売費及び一般管理費	199,984	186,982
営業利益	14,797	55,587
営業外収益		
受取利息	2	3
雇用開発助成金	400	400
その他	1,057	1,211
営業外収益合計	1,459	1,615
営業外費用		
支払利息	3,172	3,680
その他	0	0
営業外費用合計	3,172	3,681
経常利益	13,084	53,522
特別損失		
固定資産除却損	105	—
特別損失合計	105	—
税金等調整前四半期純利益	12,979	53,522
法人税、住民税及び事業税	8,486	13,177
法人税等調整額	△2,550	△2,014
法人税等合計	5,935	11,162
四半期純利益	7,044	42,359
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,044	42,359

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	7,044	42,359
四半期包括利益	7,044	42,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,044	42,359
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	975,486	299,102	1,274,589	—	1,274,589
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	975,486	299,102	1,274,589	—	1,274,589
セグメント利益	60,258	6,898	67,157	△52,359	14,797

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	67,157
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△52,359
四半期連結損益計算書の営業利益	14,797

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,004,848	374,198	1,379,046	—	1,379,046
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,004,848	374,198	1,379,046	—	1,379,046
セグメント利益	73,668	30,034	103,703	△48,115	55,587

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	103,703
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△48,115
四半期連結損益計算書の営業利益	55,587

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績及び仕入実績

当第1四半期連結累計期間における生産高及び仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高及び仕入実績(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	812,896	△8.1
電気・輸送機器向	303,404	+22.9
合計	1,116,301	△1.3

(注) 1 金額は、生産高は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

② 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	989,288	△1.4	349,393	△2.5
電気・輸送機器向	369,585	+31.3	129,696	+34.5
合計	1,358,874	+5.7	479,089	+5.3

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	1,004,848	+3.0
電気・輸送機器向	374,198	+25.1
合計	1,379,046	+8.2

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第1四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	236,078	18.5	297,539	21.6

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。